

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表 輝HIKARIみらいキッズ

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1人あたり6.78㎡あり、埼玉県指定（2.47㎡）はクリアしております。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			1日あたり5人～6人配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			屋外の出入口にスロープを設置したりして配慮しています。歩行の発達がゆっくりなお子様のために今後スロープを設置することも検討事案となっております。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			換気、消毒を頻繁に行ったり、清掃やおもちゃの消毒をし衛生面、感染防止面にも気をつけています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			職員間で話し合う機会を設け、業務改善に努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート結果を職員間で共有し、改善につなげられるようにしています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			公開予定です。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		機会は少ないですが、外部の方の受け入れを行う事があります。外部評価を記述して頂く機会は現在のところ設けておりません。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			他施設の見学や研修、カンファレンスを外部講師に依頼しての研修で職員の質の向上に努めている。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			ケース会議を行い、職員全員で意見を出し合って作成しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			厚労省のアセスメント項目に順じて日常生活・認知・行動・コミュニケーション・学習・態度などの小項目が入ったアセスメントシートを使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			主に児童発達管理責任者が立案しています。常勤でケース会議を行い、試行錯誤しながら考えております。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			日々、児童発達支援計画に沿ってお子さんにあった課題を提供できるよう心がけています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームを行っているか	○			活動プログラムの立案は様々な職種の職員が関わり行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			話し合いながら固定化しないよう努めています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			ご家庭の状況や支援時間枠の関係で個別と集団どちらかのみご利用の方もいらっしゃいます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		朝礼で一日の役割分担を確認していますが、支援開始前に詳細まで打ち合わせできていない時もあります。

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			気になった点は毎回の支援終了後や終礼の際に共有するようにしています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			行っています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度モニタリングを行っています。児童発達支援管理責任者や管理者が主に行い、職員間で話し合いも行っています。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		必要なお子様へは児童発達管理責任者や担当者が参画しています。今後より密に連携をとっていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在行っておりませんが、今後必要があれば行っていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	対象の児童がいませんが、その様な場合は整備します。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	対象の児童がいませんが、その様な場合は整備します。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要なお子様においては児童発達支援事業所、幼稚園、相談支援専門員と情報共有しています。もっと密に連携がとれるように努めて参ります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		小学校や支援学校の先生へ向けた引継ぎ書を保護者様を通して渡して頂く予定です。今後より情報共有を行っていく必要があります。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			ひまわり学園やはるの園等で行っています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	参加する機会がまだありません。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	現在行っていません。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の支援のフィードバック時、連絡帳や面談等で情報共有をしています。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか			○	研修等で職員が勉強していく必要があります。
保護者への説明責任	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明しています。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の支援のフィードバック時お話ししたり、場合によっては面談の時間を設けています。
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在行っておりません。
	㊀	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			連絡帳・電話・面談等にて行っています。

等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎週ホームページやLINE等でブログにて活動を報告をしたり、必要な情報は都度お知らせをしています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在行っておりません。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			職員のみで訓練を行っていますが、今後見直しを図り年間計画に組み込み、定期的に行うようにしていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	年間計画に組み込み、定期的に行うように努めていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			保護者への聞き取りを中心に医療的な内容を情報共有しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		机上活動で使う教材はアレルギー対応に気をつけている。書類の提出までは受けておりません。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例は記録に残し、共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		今年度はコロナウイルスの関係で研修はありませんでしたが、常に職員は気をつけながら対応しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	現在、該当児童がいません。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。